

2025 年度

自己点検・自己評価報告書

明友日本語学院

当学院では、日本語教育機関告示基準に基づき、運営の適正性の確認と教育の水準の維持及び向上を図るため、下記の通り自己点検・自己評価を実施した。

**【対象期間】**

2025年4月1日～2026年3月31日

**【評価項目】**

- |           |         |               |
|-----------|---------|---------------|
| 1. 学校運営   | 5. 学生支援 | 9. 安全・危機管理    |
| 2. 入学者の募集 | 6. 教員   | 10. 法令の遵守等    |
| 3. 入学者選考  | 7. 教育活動 | 11. 地域貢献・社会貢献 |
| 4. 納付金    | 8. 教育施設 |               |

**【評価方法】**

A：「達成されている」または「適合している」項目。

B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。

C：「未達成」または「適合していない」項目。

**【評価者】**

校長 潘 斌

主任教員 森山 静香

事務局長 NGUYEN THI THU HUONG

各担当責任者 竹田 正枝、古賀 朋子、加藤 桂、PHAM XUAN SINH

教育理念・教育目標
<b>【評価項目】</b>
<p>&lt;理念・ミッション&gt; 日本の大学への進学、または日常日本語、ビジネス日本語の学習といった日本語学習者の新たなニーズに応じながら、日本語教育の国際化を促進すること</p>
<p>&lt;教育目標&gt; 当学院に入学してから、1年目には日本語能力試験 N2（非漢字圏留学生においてはN3）のレベル、2年目にはそのN1（非漢字圏留学生においてはN2）のレベルをそれぞれ達成する</p>
<p>&lt;育成する人材像&gt; より多くの優秀な外国人留学生の受入れにより、日本語を中心とした日本文化一般を学んでもらい、それを世界に広げてもらえるような国際人材を育ちたい。</p>

1. 学校運営	
<b>【評価項目】</b>	評価
1.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。	A

2. 入学者の募集	
<b>【評価項目】</b>	評価
2.1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらは想定する入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	A
2.2 海外の募集代理人（エージェント等）の行う募集活動が適切に行われていることを把握している。	A

3. 入学者選考	
<b>【評価項目】</b>	評価
3.1 入学者の選考に関し、学習能力、勉学意欲、経費支弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	A
3.2 入学者の選考に当たっては、学校関係者（職員等）が面接等を行うように努めている。	A

4. 納付金	
【評価項目】	評価
4.1 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付時期、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項に明記している。	A
4.2 関係諸法令に基づいた学費返還規定を定め公開している。	A
4.3 上記 4.1 及び 4.2 については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	A

5. 学生支援	
【評価項目】	評価
5.1 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	A
5.2 進路指導を適切に行っている。	A
5.3 重篤な傷病や障害のあった場合の対応を定めている。	A
5.4 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。	A
5.5 不法在留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	A

6. 教員	
【評価項目】	評価
6.1 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容を明確に定めている。	B
6.2 教職員の教育力及び支援力強化のための研修等を実施すると共に、他機関の実施する研修会等への参加を促している。	A
6.3 教員評価を適切に行っている。	B

7. 教育活動	
【評価項目】	評価
7.1 理念・教育目標に合致したコースを設定し、カリキュラムを体系的に編成している。	A
7.2 授業開始前までに学習者の日本語能力を試験等で判定し、適切なクラス編成を行っている。	A
7.3 教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	A
7.4 授業記録簿等を備え、実施した授業を正確に記録している。	A
7.5 理解度、到達度の測定と評価を実施期間中に適切に行い、その結果を的確に学生に伝えている。	A
7.6 授業評価を含む教育活動の評価を定期的に行っている。	B

8. 教育施設	
【評価項目】	評価
8.1 教室は十分な照度があり、換気がなされていると共に、語学教育に必要な遮音がなされている。	A
8.2 授業時間外に自習できる部屋の確保に努めている。	A
8.3 法令上必要な設備等を備えている。	A

9. 安全・危機管理	
【評価項目】	評価
9.1 対象となる学生全員が国民健康保険に加入している。	A
9.2 感染症発生時の措置を定めている。	A
9.3 気象警報発令時の措置、災害発生時の避難方法を定め、教職員及び学生に周知している。	A

10. 法令の遵守等	
【評価項目】	評価
10.1 法令順守に関する担当者を定めている。	A
10.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	A
10.3 個人情報保護のための対策をとっている。	A
10.4 入国管理局、日本語教育振興協会及び関係官庁等への届出、報告を遅滞なく行っている。	A

11. 地域貢献・社会貢献	
【評価項目】	評価
11.1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている。	A
11.2 生徒のボランティア活動を奨励、支援している。	B
11.3 地域に対する公開講座等の実施の取組をおこなっている。	C